

研究・調査報告書

報告書番号	担当
180	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
<p>Effect of the increase in "alcopops" tax on alcohol-related harms in young people: a controlled interrupted time series.</p> <p>若者の急性アルコール中毒に対する alcopops 酒税増税の効果：コントロール時系列デザイン</p>	
執筆者	
Kisely SR, Pais J, White A, Connor J, Quek LH, Crilly JL, Lawrence D.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Med J Aust. 2011 Dec 19;195(11-12):690-3.	
キーワード	
急性アルコール中毒、増税、若年	
要 旨	
<p>目的：</p> <p>Alcopops とはオーストラリアの甘味があつて飲みやすいがアルコール度数は強い飲料のことである。2000 年に alcopops 酒税のみがビールやワインやスピリッツなど酒類よりも低い税率に引き下げられ、特に 10 代の若者の飲酒率が高まる原因になった。この問題を受けて、2008 年にオーストラリア連邦の alcopops 酒税は、1L につきそれまでの 39(豪)ドルから他の酒類と同じ 67(豪)ドルに引き上げられた。Gold Coast はオーストラリアのリゾート地で、海外の観光客が多い地域である。2008 年連邦政府の alcopops 増税の前後の Gold Coast の公立病院の救急外来において、若者の急性アルコール中毒の変化について検討した。</p> <p>方法：</p> <p>2005 年 4 月 28 日から 2010 年 4 月 27 日の 5 年間に、急性アルコール中毒で救急部に運ばれた 15～29 歳について、コントロール群とした疾患による受診を時系列分析を用いて比較した。急性アルコール中毒で救急外来を受診した 15～29 歳の割合、30～49 歳で急性アルコール中毒で受診した割合、喘息あるいは虫垂炎で受診した 15～29 歳、非アルコールおよび非外傷で救急外来を受診した 15～29 歳のそれぞれの割合と比較した。</p> <p>結果：</p> <p>15～29 歳の救急外来受診者の 3 分の 1 以上が急性アルコール中毒であつたが、他の年代では、4 分 1 前後であつた。急性アルコール中毒で救急外来に来た 15～29 歳の割合は、他のコントロール群と比べても増税後の有意な減少は認めなかつた。男性と女性、狭義及び広義の急性アルコール中毒、19 歳未満、Gold Coast 来訪者と居住者などの比較でも同様の結果であつた。</p> <p>結論：</p> <p>アルコール飲料増税は、観光客とリゾートからなる独特な地域～Gold Coast～では、急性アルコール中毒の減少とは関連していなかつた。若者の急性アルコール中毒を減らすためには、より包括的なアプローチが必要不可欠である。</p>	